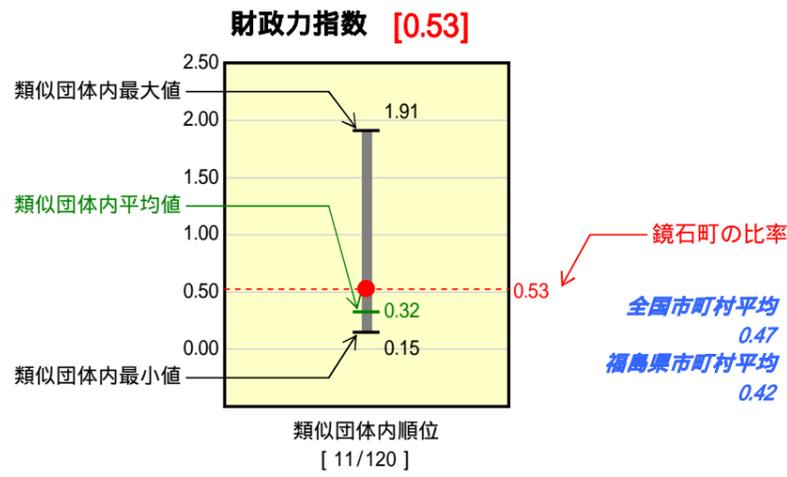


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

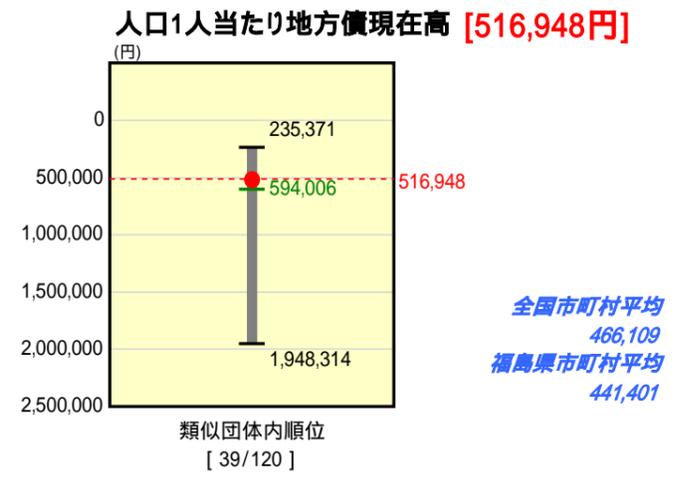
## 福島県 鏡石町

人口	12,987人(H17.3.31現在)
面積	31.25 km <sup>2</sup>
歳入総額	4,546,620千円
歳出総額	4,459,275千円
実質収支	87,345千円

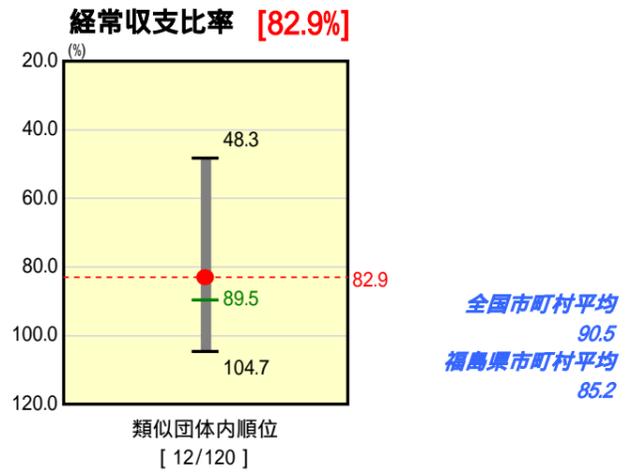
### 財政力



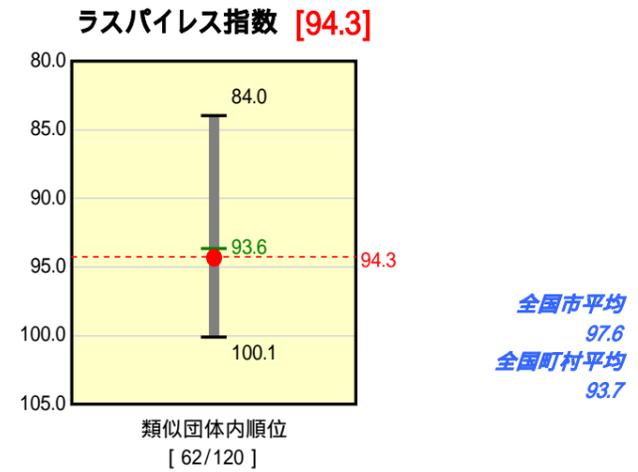
### 将来負担の健全度



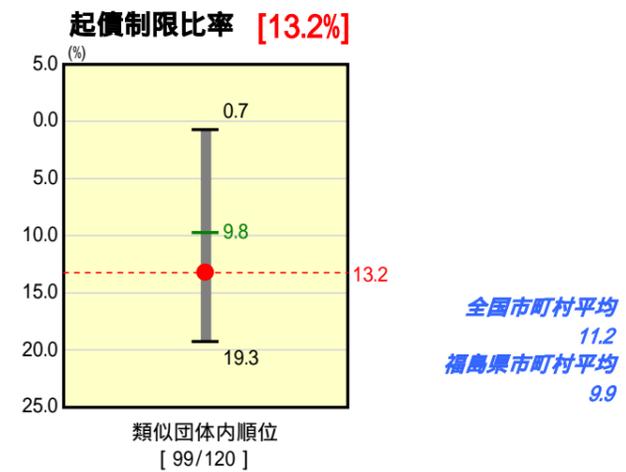
### 財政構造の弾力性



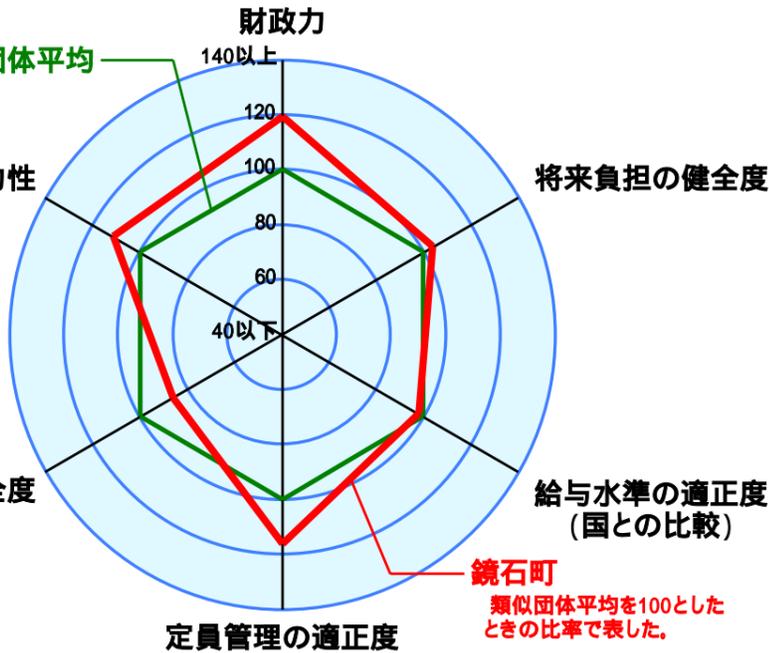
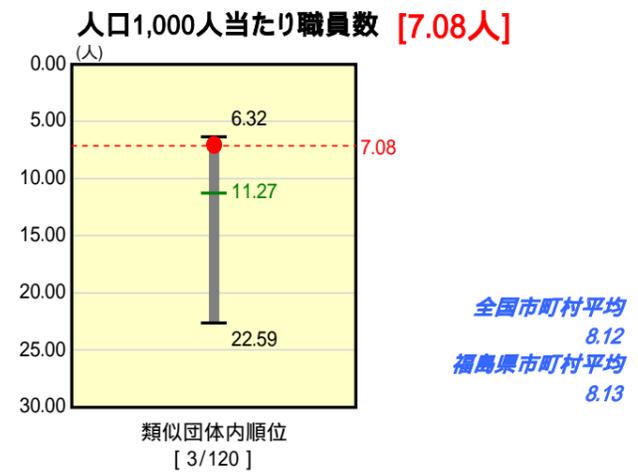
### 給与水準の適正度(国との比較)



### 公債費負担の健全度



### 定員管理の適正度



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**財政力指数:**我が町の人口は、国勢調査人口でみると、立地条件や住環境等により、平成17年が12,743人で前回(平成12年)より、2人増加となっている。高齢化率は18.8%(平成17年7月1日現在)と県内で3番目に低い状況にある。こうした関連から進出企業による法人町民税の増加をはじめとする町税の増収があるため、類似団体平均を上回る0.53となっている。

**経常収支比率:**主に扶助費と公債費の増加に伴い、比率は年々悪化傾向にある。(対前年度比2.4%ポイント上昇)これらについては、扶助費は今後も増加する見込みであり、公債費については、今後約5年間程度は減少傾向にあるものの、高水準のまま推移する。一方、人件費については、平成14年度から新規採用を実施してあらず、年々職員数と同様に減少傾向にあり、今後も職員定員適正化計画として、8名を削減目標としている。

**ラスパイルズ指数:**人件費の増加による財政構造の悪化傾向を抑止するため、原則55歳昇級停止等の給与体系の適正な運用を行っているが、今回、類似団体・全国町村平均を上回る結果となった。健全財政の確立のため、今後とも、給与体系も適正な運用に取り組み、人件費の抑制に努める。

**起債制限比率:**平成7年の団体開催(サッカー競技)による、鳥見山公園内の陸上競技場等の整備や、同じ公園内に平成9年度に建設した「町民プール」や平成8年度に「図書館」建設、平成8年度から平成9年度にかけての「町営住宅」建設等、大型の普通建設事業が集中したのに伴い、公債費償還が年々微増傾向にある。今後は、重点事業の整理・縮小に努め、起債依存型の事業実施を見直し、今後5年間の推移は大きく変動しないと考えられるが、それ以降については、極力類似団体の水準の9.8%により近づけるよう努める。

**人口1人当たり地方債現在高:**現在のところ類似団体平均値を下回っているが、今後、平成17年度の繰越事業で義務教育施設整備事業を予定しており、新規の地方債発行額(209,600千円)が見込まれる。その他事業の地方債発行においては、新規発行債の抑制に努め、地方債残高も減少傾向にあるので、今後とも引き続き、財政の健全化を図る。

**人口1,000人当たり職員数:**平成15年度にスタートした町第2次行政改革大綱に基づき、職員定数管理として、退職者の補充を行わず、行政組織のスリム化を図り、平成16年4月から町長部局を8課から6課に、教育委員会部局を2課を1課に統合するなど組織の再編成により職員の減員を図っている。また、組織の機敏性と即効性のある行政を目指し、FF式体制へ移行させ、グループ制の導入により、従来の課長補佐・係長を廃止し、グループ長を設置するなど職制の在り方についても検討してきている。現在、平成22年度末を目標とした「第2次行政改革大綱(集中改革プラン)」により平成17年度の職員数106名から22年度末までに8名減(削減率7.6%)を目標とした職員定数適正化計画を策定したところである。